

登録コード	E0700901	開講年度	2026			
授業科目	図画工作基礎 B				担当教員	猪瀬 昌延
英文授業名	Basic Art and Handicraft B				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1 時限	対象学生
講義室	教育N 1 0 9		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				美術及び造形芸術についての幅広い知識、技能を養うとともに、現代の教育において果たす役割について理解することが出来るようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				図画工作科の授業を遂行する上で必要となる、専門的知識や技能について、指導要領に示された領域毎の活動を体験することで習得し、活用できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	作品制作を通して、ものを作る楽しさを感じるとともに、基礎的な造形力と表現力を養う。					
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 画材や素材の準備 第 2 回：絵や立体1 課題1 生物発見（素材の準備と構想） 第 3 回：図画工作作品ポートフォリオについて （着色と撮影）作品提出 第 4 回：工作1 課題2 張り子（粘土による原型制作） 第 5 回：工作2 （紙の加工1厚み付け） 第 6 回：工作3 （紙の加工2脱型と細工） 第 7 回：鑑賞1 （着色と完成）作品提出 第 8 回：造形遊び1 課題4 土鈴（陶土による原型制作） 第 9 回：造形遊び2 （原型の完成と乾燥 第13回14回に続く） 第10回：絵や立体2 課題5 木版画（図案の転写） 第11回：絵や立体3 （彫り） 第12回：鑑賞2 （刷り）作品提出 第13回：造形遊び3 （土鈴の焼成） 第14回：鑑賞3 （土鈴の着色と完成）作品提出 授業内に「授業アンケート」を行う。 教育実習による欠席は、別途補講を行う。					
(6)成績評価の方法	課題作品（4作品）の評価（50％）、授業への取り組みや学習状況50％を含め評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	（ ）授業で示した用具及び素材の加工が適切であり、（ ）素材やその技法を効果的に生かし、（ ）基礎的造形性の把握ができており、（ ）その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し（ ）作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	前授業行った制作の続きと次授業までの制作到達目標の指示に従い制作を進めてから授業に臨むこと。 各回授業内に次授業で必要となる用具や素材の準備等に関して説明を行う。					
(9)履修上の注意	授業形態等の関係で定員24名とする。（受講希望者が定員を超えた場合は第1回授業で抽選を行う） 授業においては、制作及び作業に適した服装で臨む事。 制作に必要な粘土や絵具等の材料は各自が購入する。（別に材料費が必要となることがある） 修学状況に応じて授業時間外での制作が必要となる。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	猪瀬研究室 北校舎N112, 連絡先 minose@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』					
【参考文献】	映像資料や作品集、参考作品など随時紹介する。					